

高山英男教授略歴・著作目録

略 歴

- 昭和54年 3月 埼玉大学教養学部卒業
 昭和57年 3月 名古屋大学大学院法学研究科博士前期課程修了
 昭和60年 3月 名古屋大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学
 昭和60年 4月 名古屋大学助手（法学部）
 平成 2年10月 大分大学助教授（経済学部）
 平成 4年 4月 大学入試センター教科専門委員会委員（平成 6年 3月まで）
 平成12年 4月 大分大学教授（経済学部）
 平成18年 4月 大分大学経済学部経済学科長（平成20年 3月まで）
 令和 3年 3月 定年により退職
 令和 3年 4月 大分大学名誉教授

著 作 目 録

【著 書】

- 『「1968年」時代転換の起点』（分担執筆） 平成 7年 2月 法律文化社
 『世紀転換期の国際政治史』（分担執筆） 平成15年 5月 ミネルヴァ書房
 『グローバル化と日本の経済・社会』（分担執筆） 平成15年 7月 ミネルヴァ書房
 『グローバル化する経済と社会』（分担執筆） 平成20年 4月 ミネルヴァ書房
 『グローバル時代の国際政治史』（分担執筆） 平成20年 6月 ミネルヴァ書房

【論 文】

- ロシアの政治構造に関する一考察 平成 8年 7月 『大分大学経済論集』
第48巻第1・2合併号
 ロシア国民の政治的価値選択に関する一考察 平成 8年11月 『大分大学経済論集』
第48巻第3・4合併号
 ロシアの政治的対立軸の変化 平成 9年 7月 『大分大学経済論集』
第49巻第 2号

(2)

ロシアにおける「国益」論争の意味について	平成10年11月	『大分大学経済論集』 第50巻第4号
コンスタンチン・ソローキンの「等距離バランス戦略」について	平成11年5月	『大分大学経済論集』 第51巻第1号
ロシアにおける『国益』論議の論点整理	平成11年11月	『大分大学経済論集』 第51巻第3・4合併号
ロシア保守派の地政学について：A.C.パナーリンとB.И.ツィムプルスキー	平成12年11月	『大分大学経済論集』 第52巻第4号
ロシア連邦における「中間派」の外交戦略構想について	平成13年5月	『大分大学経済論集』 第53巻第1号
ゴズィレフ外相の初期の外交構想について	平成17年11月	『大分大学経済論集』 第57巻第4号
2007年の主権民主主義論争について	平成21年11月	『大分大学経済論集』 第61巻第4号
メドベージェフ大統領の「現代化」政策について	平成23年3月	『大分大学経済論集』 第62巻第5・6合併号
プーチン大統領のマニフェスト	平成25年11月	『大分大学経済論集』 第65巻第3・4合併号